

【主な出来事】

- レスニク副首相、ドゥンブラベアヌ保健相の新型コロナウイルス感染が相次いで確認された。コロナ対策に関し政府は、公共衛生緊急事態を9月15日まで延長し各種規制を維持しつつ、入国規制措置については一部緩和を決定。
- トルコ外相が当地を訪問し、トルコ系住民が多数を占めるガガウズ自治区への総領事館新設式典などに出席。

1. 内政

▼ロシア大使館への爆破予告事案

・17日、今年に入って3度目となる当地ロシア大使館に対する爆破予告事案が発生した。ロシア大使館に対し爆発物を仕掛けたとの匿名の電子メールメッセージが送られた。ロシア大使館からの通報を受け、警察は周辺を封鎖、内務省の爆破物対策班による搜索の結果、敷地内及び周辺から爆発物又は疑わしいものは見つからず、警察は虚偽であったと発表した。

▼世論調査結果

25日、Association of Sociologists and Demographersによる世論調査結果が発表された。大統領選挙において誰を支持するかとの質問に対し、32.4%がドドン大統領と回答。サンドゥPAS党首は20.1%、ウサトゥイ我らの党党首5.4%、ナスターセDA党首4%、フィリプ民主党党首3.1%、ボローニン共産党党首2.8%など。

新型コロナウイルス関連

▼レスニク副首相の感染

・24日、レスニク国家再統合問題担当副首相が新型コロナウイルスの感染検査で陽性が確認されたと発表された。

▼ドゥンブラベアヌ保健相の感染

・29日、ドゥンブラベアヌ保健・労働・社会保障相が新型コロナウイルスの感染検査で陽性が確認されたと発表された。

▼公共衛生緊急事態を9月15日まで延長

・26日、公共衛生特別委員会は、現在の当地における新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、8月31日までの期限とされていた「公共衛生緊急事態」を9月15日まで延長し、各種規制措置を同日まで維持することを決定した。

・但し、当国への入国規制措置については、諸外国の感染状況などをベースに2つのカテゴリー（グリーン及びレッド）に分け、グリーンに分類された諸国からの入国については外国人も含め原則認められることとなり（入国後14日間の隔離措置もなし）、レッドに分類された諸国からの入国は引き続きこれまでの規制措置（外国人の入国禁止や入国後14日間の隔離措置）が維持されることとなった。入国規制措置の緩和は9月1日から開始され、諸外国をカテゴリー分けしたリストは後日発表されることとされた。

・また、全ての教育機関の活動について、別途定められる感染予防措置を遵守することを条件に、9月1日から再開されることとなった。

▼8月末の感染者36920名

・8月末時点の新型コロナウイルス国内感染者数は計36920名、死者は995名となった。

2. 外政

▼トルコ外相のモルドバ訪問

・26日～27日、チャヴシュオール・トルコ外相がモルドバを訪問した。チャヴシュオール外相は、当地訪問中に戦略的計画共同グループ会合に出席したほか、ドドン大統領及びキク首相とそれぞれ会談した。また、27日にはガガウズ自治区のコムラットに新設されたトルコ総領事館の開館レセプションに出席した。

・両国の戦略的計画共同グループ初会合は両外相出席の下で開催され、政治・外交対話、経済・投資関係、領事分野の協力、トランスニストリア問題、安全保障問題、地域・国際組織での協力など幅広い分野について話し合われた。両者は次回会合を2021年中にキシニョフで開催することに合意した。

3. 経済

▼第2四半期インフレ率4.3%

・17日、国立銀行は、本年第2四半期のインフレ率（年換算）が4.3%となり昨年12月の7.5%から漸減したと発表。これは、食品、燃料等の価格が下落したことによるが、新型コロナによる影響を含め悲観的な見通しによる。

▼上半期工業生産、前年同期比で7%減

・19日、国家統計局は、本年上半期の工業生産（名目）が前年同時期と比べ-7%と発表（季節変動調整済で-7.8%）。うち、鉱業が-4.4%、加工産業が-6.6%、エネルギーが-5.4%。

▼政府、干ばつ被災農民に1億レイ拠出

・19日、政府は、干ばつの被害を受けた農民2,800名の補償のために1億レイの追加拠出を承認。

▼6月小売業統計

・21日、国家統計局は、本年6月の小売業（自動車販売除く）の売上が本年5月比+10.5%増、前年同月比+3%、また、上半期の売上が昨年同時期比で-1.4%と発表した。同じく、サービス業（一般向け）の売上が本年5月比で+23.9%、前年同月比+43.5%と発表した。

▼7月海外個人送金

・24日、国立銀行は、本年7月の海外からの個人送金が148.8百万ドルで前年同期比29.9%の増加と発表した。送金元国はイスラエル 27.8 百万ドル、ロシア 22.4 百万ドル、イタリア 21.5 百万ドルなどとなっており、EU諸国からのものが全体の 45.3%を占め、CSI諸国からは16.4%。

▼2019年平均賃金7233レイ

・25日、国家統計局は、2019年の平均賃金がグロスで7233.7レイとなり、対前年比で15.4%増加した旨発表した。ネットの平均賃金は6010.1レイで対前年比16.9%の増加。

・最も給与水準の高い職種はIT関係で平均15785.4レイ、次いで銀行・保健関係で13203.5レイとなっている。最も給与水準が低いのは農業分野で平均4768.7レイ。公務員の平均給与は6664.4レイ。

経済協力

▼中国、50万レイ相当医療機材供与

・25日、ドドン大統領は Zhang 中国大使とともに Moldexpo 国際展示場に設置された Covid19 センターを訪問した。同センターは、中国側から50万レイ相当の超音波機材の供与を受けた。

(了)